

6月8日(土)、生活創造空間にし(エヌ・クラブ&ガッツ・ビーと西)10周年の集いが無事行われました。

区長のご挨拶にはじまり、皆様の温かいメッセージにこころ打たれるとともに、新たにまた「頑張ってみよう」。そんな想いを深くしました。10年撮りためたスライドショーでまたまた心が大きく動きました。10年の月日の重さになんとか圧倒され。映る利用者や職員の顔々に「いい時間」を感じました。そして来場して下さった方々の厚い思いに改めて御礼!申し上げます。



さて、これからの10年。どんな時代になっていくのだろう。しっかりと時代にコミットしていこう!そんな気持ちでいます。新しい地域創りの一翼をしっかりと担っていける力をつくっていこう。「障がい者」の生き方は「地域をよりよく」していく大きなひとつの「鍵」になるのでは。改めてそんなことを思っています。

生活創造空間にしがもっともっと地域とていねいなやりとりをしながら一緒に育ちますように。(渡辺 幹夫)



50年前 1年半位 沖縄にいました。それからとっても好きな沖縄！・・・
・・・これからの10年。覚えておこう！そんな気がして。新聞記事をそのままに・・・
20万人以上の命が失われた沖縄戦。「慰霊の日」の2019年6月23日。
沖縄では各地で追悼式や慰霊祭が開かれた。
そのなかで糸満市立兼城小6年の山内玲菜さんが自作の詩を手元の原稿を全く見ず暗唱した。
(渡辺 幹夫)

「本当の幸せは」

青くきれいな海
この海は どんな景色を見たのだろうか
爆弾が何発も打ちこまれ ほのおで包まれた町
そんな沖縄を見たのではないだろうか

緑あふれる大地
この大地は どんな声を聞いたのだろうか
けたたましい爆音 泣き叫ぶ幼子 兵士の声や銃声が入り乱れた戦場
そんな沖縄を聞いたのだろうか

青く澄みわたる空
この空は どんなことを思ったのだろうか
緑が消え町が消え希望の光を失った島 体が震え心も震えた
いくつもの尊い命が奪われたことを知り
そんな沖縄に涙したのだろうか

平成時代 私はこの世に生まれた
青くきれいな海 緑あふれる大地 青く澄みわたる空しか知らない私
海や大地や空が七十四年前 何を見て 何を聞き 何を思ったのか
知らない世代が増えている 体験したことはなくとも 戦争の悲さんさを
決して繰り返してはいけないことを 伝え継いでいくことは
今に生きる私たちの使命だ
二度と悲しい涙を流さないために この島がこの国がこの世界が 幸せであるように

お金持ちになることや 有名になることが 幸せではない
家族と友達と笑い合える毎日こそが 本当の幸せだ
未来に夢を持つことこそが 最高の幸せだ
「命（ぬち）どう宝」 生きているから笑い合える 生きているから未来がある
令和時代 明日への希望を願う新しい時代が始まった この幸せをいつまでも

梅雨の雨予報を退けた曇り空の中、6月8日(土)10:00から西区公会堂で生活創造空間にし10周年記念祝賀会が開催されました。その中で「10年を振り返って、これからの10年」と題したシンポジウムの内容を報告します。

壇上には、健康福祉局障害福祉部こころの健康相談センター【山崎係長】(開設時西区ケースワーカー)、西区障害福祉関係部会【深野氏】、ガッツ・ビーと西初代所長【渡辺氏】、エヌ・クラブ初代所長【熊井氏】の4名が登壇し、進行はガッツ・ビーと西所長【阿部】が担当。進行の阿部所長からは、「皆さん僕のために大いに語ってください」と強引なお願いのもと、長く西区をけん引されてきた皆さんから、生活創造空間にしで担ってきた事、想い、その上でこれから先の10年の可能性についてお話ししていただきました。

◇開所準備の様子について教えてください



【深野氏】重度心身障害者の親御さんたちは、西区に地域活動ホームをつくってほしいと切に願い、「やるぞ!」という熱い想いに満ちていた。準備段階で地域の人の暖かさを知り、「顔が見えることが地域の力」であると実感している。

◇県央福祉会、横浜共生会、2法人が一緒に行ってきたことは?



【熊井氏】準備段階で、お互いの全く違う機能の中でどの様に運営していくのかかなり細かく話し合えたことはよかった。エヌ・クラブではカフェを併設。当初、「にしよこで喫茶店は無理だよ」と言われていたが、ガッツ・ビーと西があることで様々な方の出入りがあり、大変ありがたかった。



【渡辺氏】2法人での運営は難しいだろうと言われていたが、それなら新しいカタチで1+1=3になるような動き方を一緒にやってみようと思った。障がい分野から高齢、子供に踏み出さないとアクションは起こせない。改めて、2法人だからこそ、やれることがあったと実感している。

◇区役所から見た、地域の中での生活創造空間にしはどうだったか?



【山崎氏】地域活動ホームがどうあるべきか考えてきたし、今まで区外を利用されていた方も待ち望んだ施設であった。地域の方からも快く協力をいただき、フェスタが徐々に第三地区に根付いているように、地域の人と触れ合う機会、一緒に作り上げていく場があることはありがたい。

◇これからの10年について



【深野氏】障がい児の親である自身を振り返ると、平成は地域での差別と闘っていた。アクシデントがあった時に、地域の方とお互い様の関係をどこまで作れるか。支援者には、前でも後ろでもなく横に一緒にいてほしい。そして、これから先10年も戦争がないといい。



【熊井氏】これからも「感謝の気持ち」をキーワードにする。お互いのいいところを伸ばし合い、そこから生まれる人の繋がり、広がりをもって。毎日のことをコツコツやり続けることが大切。



【山崎氏】西区全体ではまだ生活創造空間にしを知らない方もいるので、活動の中で広めてほしい。分野を超えて、引き続き行政として何ができるか考えていきたい。



【渡辺氏】当時の地域福祉計画の懇談会を思い起こすと、地域の会長たちから「きれいな言葉で終わってしまうんだよね」という言葉があり、それじゃダメだと思い、施設でできることをやっていこうと決意した。「ニーズは地域にあり」という認識を職員にも持ってほしい。これからの10年、うちだけが、ではなく地域の一員として、今後もよろしくお願いします。

<まとめ>

準備期から生活創造空間にしに携わってきた皆さんの想いは熱く、中でも深野氏の「施設は創っただけではなく、その先受け入れてもらい実現化していくことが大切」という言葉は、この先もいち職員として働く私たちの姿勢が試されていると感じました。

阿部所長からは、「今の皆さんからの言葉は施設の職員も聞いているので大変ありがたい。そして、これからの僕の糧にします。」と感極まった言葉も…。

今後も「地域の中の生活創造空間」であり続けられるよう、今回の10周年がお祭りで終らぬよう、日々コツコツと、みんなで成長していきたいと思います。

記:ねくさす 平山

端午の節供報告

令和元年5月10日（金）、生活創造空間にしにて、
『端午の節供』を行いました。

今回で『みんなの節供』も、第15回となりました。

こどもから大人から、障がいのあるなし関係なく、

172名と、いつにも増して、

たくさんの方に来ていただきました。

「初めて来ました」との声も聞き、

更に新しい出会いも生まれているようです。

一部は、おもちゃのはこさんのコンサート。

端午の節供と言えば兜？いえいえ、そこは二ひねり？

金太郎の手作りお面を会場の何人かの方も被られ、

楽しいコンサートになりました。

二部は5階食堂に会場を移して、バイキング。

メニューは、5月らしく「たけのこごはん」、いつもの

「唐揚げ」も一工夫して「竜田揚げ」にしてみました。

もちろん、「ポテト」に定番の「三浦創生舎の餃子」も

大好評！端午と言えば柏餅？

…いえいえ、ここでも二ひねり、こいのぼりに似せて？

「たい焼き」をデザートの一つに加えました。

本日は満員御礼！料理も早々に品切れに。。。思う存分、

食べられなかった方もいらしたかもしれません。これに

懲りずに、是非またのお越しをお待ちしています。

次回は7月5日（金）七夕の節供です。

今年は天の川はかかるのでしょうか？

そんなことを想いながら、素敵なコンサートや美味しい

バイキングを楽しみに是非、“生活創造空間にし”に

足を運んでみてください。

お友達、お仲間もお誘いあわせの上、

みんなでワイワイ楽しみましょう！

お待ちしております♪

2019年5月（渡部）

しちせき せっく 七夕の節供



7月5日（金）、生活創造空間にしにて、「七夕の節供」が行われました。

コンサートでは毎年通り、織姫と彦星が再会を果たしました。

今回のコンサートの目玉は、なんと言っても早口言葉遊び。

みなさんで一緒に早口言葉を唱えたり、後は小学生の方々がステージに急遽前に出てくれて、発表してくれたりしていました。

最近、よりふれあいの多いコンサートとなっています。

この日は過去最高のご来場者の人数がありました。

その数は、なんと総勢 200 名以上。

前回よりも 30 名以上多く、椅子だけではなく机も新しく増設する程のにぎわいぶりでした。どの部屋も人がいっぱいでもっともにぎやか♪

バイキングは一時間くらいでほとんどなくなってしまった状況で、

満足にお食事が食べれなかった方もいたと思うのですが、

みなさんで譲りあいながらお食事を愉しんで頂き、ありがとうございました。

来る人みんなにとって、より良い「みんなの節供」を

いっしょに作り上げていけたらと考えています。

次回は、「重陽の節供」9月6日（金）です。お待ちしております★

2019年 7月（古田中）

昭和のメロディーをみなさまへ...

今回で約1年ぶり、2度目の出演をいただきました有希乃 路央（ゆきのじお）さん。

今回も、昭和の素敵なメロディーを沢山ご披露していただきました。ファンの方々をはじめ、初めてご覧いただいたお客様にもご好評をいただき、春の夜に生活創造空間にしが素敵なコンサートホールとなりました。



堂々たる素敵な歌声を聴いていると、
ついついベテラン歌手の方のコンサートに
来ているような感じを受けますが、なんと実は
まだ学生さんなんですよ!!

これからも活動の場を広げられていくことと思いますが、
是非、また生活創造空間にしでも素敵な歌声を
聴かせていただけたら嬉しいです。

村田



6月29日土曜日、「第2回にしよこ就職フェア」を開催しました。

にしよこ就職フェアは、西区第3地区の8福祉事業所からなる「第3地区所長会」が主催です。各事業所の人材不足を打開すべく、また、併せて地域の方に福祉の仕事を知ってもらいたいという啓発の趣旨も含んでいます。

当日はあいにくの雨でしたが、15名の地域の方が参加しました。常勤職員を目指す方、非常勤職員を希望する方、まずはボランティアから始めたいという方など、希望はさまざまでしたが、みなさん熱心に事業所スタッフと話をしていました。そして、数名の方は、見学、面接と次のステップに進んでいます。昨年度の就職フェアでは、1名の方が採用につながりました。今年度も、1名でも多くの方が採用につながることを願っています。

福祉の仕事を地域の方に知ってもらいたい。そして地域の方と一緒に福祉を支えていきたい。そんな想いを胸に、今後も継続して就職フェアを開催していく予定です。

エヌ・クラブ所長 石井

2019年度 生活創造空間にし研修

第1回『障がいがあっても「いい感じの自分」で暮らすコツ～双極性障がい経験者の立場から～』 令和元年 6月 25日(火) 18時～20時 参加者…52名

研修 報告 森 博宣

今回のにし研修には50名を超える大勢の方にご参加頂きました。更に嬉しいことにその参加者の多くは『生活創造空間にし』に初めてご来館頂いた方でした。研修を通してこの建物、事業を知って頂ける良い機会ともなり、大変ありがたく思います。

さて『にし研修』は今年で9年目を迎えます。今回の研修はピアサポートグループ在の、加藤伸輔さんをお招きして『障がいがあっても「いい感じの自分」で暮らすコツ～双極性障がい経験者の立場から～』のお話とそれについてのグループワークを実施しました。

これまでの『にし研修』でも、地域の方や福祉業従事者の方等に大勢ご参加頂いておりますが、その中でも今回は、精神障がいを経験され且つ、その事をオープンにして参加された方が大勢いらっしゃったことは特筆すべきことであつたろうと思います。なぜなら普段、サービス提供者側として、言い換えると『公(フォーマル)』な立場としてかわる支援者にとって、今回のようなフラットな場で対話する機会は実は少なく(勝手な私の主観でしたら申し訳ありません)、貴重で、刺激的な場であつたと思うからです。ご参加頂いた方の中には気づきはもちろん、良い意味での戸惑いを感じた方もいらっしゃったのではないのでしょうか。それは『公(フォーマル)』の自分で話せばいいのか、もしくは『私(インフォーマル)』の自分で話せばいいのか。『実は私にも心の迷い、弱さ、悩みがある。でもそれをこの場で、この立場でオープンにしていいたいのだろうか。』『個人的にはこう思う。でもこの場では会社組織の中の自分の立場から言いづらい。』勝手に参加者の気持ちを代弁していますが、ほぼ私の気持ちですかね。ご参加した皆さまはどうお感じになったのでしょうか。

また、講師の加藤さんは『リカバリーの視点や、いい感じの自分で暮らしていきたいという思いは、精神障がい経験者だけでなく、知的障がい、身体障がいの方にもありますし、そもそも障がいのあるなし関係なく、だれにとっても大切なもの』と仰っていました。私はこれまで10年、主に知的に重度の障がいのある方の支援を多くしています。あくまで私の意見ですが、知的障がいの分野には『リカバリー』とか『いい感じの自分』といった視点を対象の方に対して向ける機会が少ない、もしくはそもそもそうした視点の発想自体が支援者から生まれづらい分野ではないかと感じます。というのも、知的障がいの方の場合ですと、意思表示が難しい、なかなか簡単には言葉で相手に伝えづらい方が大勢いらっしゃいます。すると支援者は対象の方の意思や思いについて、気にとめる機会、思いをはせる機会が少なくなりがち、反対に意思表示が容易に出来る支援者やご家族の思いにばかりに焦点が当たってしまうことが往々にしてあると思うからです。しかし、本来はどんな障がいがあっても、あるいはなくても、子どもでも高齢の方でもどなたでも。そのお一人お一人には『いい感じの自分になりたい』『自分で〇〇したい』という希望のお気持ち、意思があると思います。私自身その大切なことに改めて気づかされる良い機会となりました。

ご参加頂いた方からは『こうした研修、学びの場は大変貴重だし、ニーズも多くあると思う。また是非、参加したい。』とのお声を頂きました。私も率直にそう感じます。ワークの場がとても刺激的。同じような分野の方の集まりでありながら、それでも実際の研修の場では、さも異文化交流のような様相を呈していた事がとても印象深かったです。またこうした企画、場を提供できればと思うと同時に、日常的にもこうした場が作れば、また自然発生的にそうした場が生まれる環境であればもっと素敵だなと感じました。

このように『にし研修』としては、これまでになかったスタイルで研修を進める真っ只中でも、加藤さんは会場全体や参加者それぞれの方の反応、雰囲気を感じて拾っている様子で、その都度、私に『こうした方が良いかな』『こう伝えると伝わりやすいかな』等ご提案頂き、その場で話し合っ、修正して、全体発信して。加藤さんのこの機会をもっと良いものにしよう、もっと有用なものにしようという『いい感じの』熱い気持ちを感じたとともに、とてもライブ感のある研修になりました。

次回は8月29日(木)18:00～20:00。生活創造空間にし5階食堂において、第2回にし研修『地域生活支援拠点について考える』です。地域生活支援拠点という言葉だと少しイメージし難いかもしれません。要は『地域共生社会』について考える研修です。皆様と一緒に考えられたらと思います。皆様のご参加、お待ちしております。

生活創造空間にしと近隣地域のイベントスケジュール



日時	行事	場所	備考
24日(土) 13:30 開演	太田峻平と「三銃士の会」 大人も、子どもも、途中で電車が気になっても！たくさんの楽器の音色でお届けさせていただきます♪ご来場お待ちしております。	生活創造空間にし [浜松町14-40]	入場無料 ＜問合せ＞ 生活創造空間にし ☎：250-6506
29日(木) 18:00～20:00	生活創造空間にし研修② 地域生活支援拠点について考える 講師：社会福祉法人 大樹 つるみ地域活動ホーム幹 課長 井上 竜	生活創造空間にし [浜松町14-40]	入場無料 ＜問合せ＞ 生活創造空間にし ☎：250-6506



日時	行事	場所	備考
6日(金) 16:30～19:00	みんなの節供「重陽の節供」 素敵なコンサートと美味しい食事を用意して、皆様がいっぱしゃるのを お待ちしております♪初めての方も、お気軽に来て見て下さいね☆	生活創造空間にし [浜松町14-40]	15歳以上は100円 以下は無料 ＜問合せ＞ 生活創造空間にし ☎：250-6506



行事	場所	日程
東久保町 盆踊り (4町内合同)	池の上公園	8月2日(金)・3日(土) 時間：18:30～
元久保町自治会 盆踊り (元久保町自治会)	元久保町公園	8月2日(金)・3日(土) 時間：19:00～
元久保町のお祭り	元久保町自治館付近	8月4日(日) 時間：11:00～15:00

男 もや田 のもやもや日記

梅雨の時期、特に今年は雨が非常に多く、
傘が手放せない日が続いていますね。

先日、電車に乗っていたら、満員電車で網棚に濡れた折りたたみ傘を置いて、
自分のカバンにビニールを掛けている人がいました。

当然のごとく、網棚からは水が滴り落ちてきて、
下に座っていたサラリーマンの膝元が濡れてしまい、
それでもそのサラリーマンは何も言わずに座っていました。

なぜカバンを入れるビニールを持つ用意周到さがありながら、
折りたたみ傘を入れる小さいビニールを持ち歩けないのだろうか。

というモヤモヤを抱えながら
横浜駅まで乗車していたのですが、途中、少し車内が空いてきた時に、
傘はそのままで自分の洋服をタオルで拭いているのを見て、
さらにモヤモヤ？もはやイライラした出来事でした。